



第28号

平成23年2月18日

発行責任者
千歳市町内会連合会
会長 沼田 常好
千歳市東雲町1丁目11番地
千歳市社会福祉協議会内
TEL.0123-27-2525

印刷
(株)フロンティアエージェンシー

市町連だより

平成22年度

市関係者と市町連との懇談会開催

平成22年11月12日(金)ホテル日航千歳を会場に「平成22年度市関係者と市町連との懇談会」を実施しました。懇談会では市町連から62名(事務局3名)、千歳市から山口市長はじめ16名が出席して開催されました。市町連から提出された「要望事項」9項目について、市の各担当部長から内容のご回答説明があり、現状の課題として、集団資源回収、防災対策、児童会館の増設等について意見交換を行いました。

今年度は、千歳市への要望事項の提出の過程で、地域ブロックごとの会議を開催し、延べ121名の市の担当職員の皆様に同席をいただき、市の現状の説明や進捗状況、千歳市の考え方などについて直接説明を受けた中で意見交換をさせて頂き、その結果、最終的に全市的に共通する9項目につきまして、「市町連要望」として取りまとめ提出させて頂きました。



平成22年度
市関係者と市町連との懇談会

- 以下市町連要望事項9項目については次の通りです。
- 平成22年度 千歳市町内会連合会要望事項**
- 一、新たな集団資源回収システム(案)について
 - 二、自主防災組織づくりの促進について
 - 三、除雪及び排雪対策について
 - 四、生活環境の整備について
 - 五、交通安全対策について
 - 六、災害時要援護者支援について
 - 七、生活道路や歩道の補修・整備について
 - 八、施設整備について
 - 九、町内会加入促進の協力について

続いて、市関係者と市町連町内会長との懇親会が行われ、公務ご多用にも関わらず山口市長並びに各部長全員の出席をいただきました。市町連は、行政との良好な関係を密にして市民協働に向けた町内会の意識改革向上を目指します。今回の懇談会にお力添えを頂きました市長並びに市関係者の皆様にお礼を申し上げます。

平成22年12月20日
総務部長 柿原堅一郎

なお、市からの文書回答につきましては、各町内会長へ送付済みでございます。

平成22年度道央ブロック町内会活動研究大会

町内会活動研究大会は、11月8日江別市民会館で127名が参加して開催されました。テーマは「安心・安全なまちづくりをめざして」、近年の急速な少子・高齢化の進行や社会・経済構造の急激な変化は、地域にも大きな変化をもたらしています。

こうした中、ひとり暮らしの高齢者世帯への訪問活動や除排雪などのたすけあい活動、ふれあいサロンでの交流活動、自主防災組織の結成や高齢者等の災害時要援護者の安否確認など安心・安全ネットワークへの取り組みが注目されとりわけ町内会に大きな期待が寄せられています。

本大会では、地域の支えあいと絆づくりをめざして、子供から高齢者まで誰もが住んでいて良かったと思える安心・安全な地域づくり・町づくりを研究する大会でした。「安心・安全をめざして、地域の支えあいと絆づくり」と題して、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、人と人とのつながりを深め支えあうために、町内会としてできることなどを、小規模多機能型居宅支援センター支心所長の川本俊憲氏から講話がありました。



引き続き「見守り・たすけあい活動について考える」、「ゴミ減量・リサイクル活動について考える」、「住民主体のコミュニケーションづくりについて考える」の3分科会が行われ、各市町連22名の参加者がそれぞれの分科会で千歳市の実践活動・事例を発表し他の参加者と活発な討議が行われました。

部会報告

安全部長等研修会

安全部会長 清水 清

安全部会は、10月13日、千歳に住んでいて最も身近な自衛隊の災害派遣体制について研修しました。当日は、第7師団関係者の皆様から、千歳市に係る地形・地質の特質等についてのお話しをいただき、また、第11普通科連隊の関係者の皆様からは、災害派遣に際しては、第11普通科連隊が、千歳の街を8地区に分けて災害派遣即動態勢になっているという話をお聞きし、非常に感銘を受けました。

本研修に際し、お世話になりました関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。



告

続いて、研修会場を平成22年にオープンした防災学習交流センター(そなえる)に移し、担当者から、施設概要の説明を受け、災害を「学ぶ・体験する・備える」をキーワードに、いろいろな災害の疑似体験をしながら、防災に関する知識や理解を深めました。

市民の皆様には、ぜひ一度、防災学習交流センター(そなえる)を見学してください。



福祉部長等研修会

福祉部会長 村上 芳男

滝川市町内会連合会から、当連合会の福祉活動の取り組みについて視察研修の申し入れがあり、10月14日に15名が訪千されました。研修では、当連合会の青葉丘・稲穂両町内会の事例発表が行われた後、両市町内会連合会の福祉活動への取り組み等について、懇談をいたしました。

引き続き、10月28日、福祉センターにて「町内会福祉部長等研修会」を開催し、市の担当者から、「千歳市地域福祉計画」について説明をいただき、今後とも行政・

社会福祉協議会との連携を密にしていかなければならないことを確認いたしました。

当研修会には町内会長、民生児童委員、福祉委員、福祉部長等多くの参加をいただきました。来年度も行政から福祉計画等についてのお話を聞きし、各町内会で実践に加え、なお一層の福祉事業を推進していただきたいと願っております。



町内会青少年部長等研修会開催

青少年部会長 愛澤 祐司

町内会青少年部長等研修会は10月16日、3部構成で開催致しました。

第一部は「大人が変われば、子どもも変わる運動」青少年育成活動の現状と

課題」をテーマに、北海道青少年育成協会の平満允氏を講師に招き、各種資料と全道の活動など90分講演を頂きました。

運動の趣旨、活動内容、経緯など事例等を中心に分かりやすく解説して下さいました。

特に「朝食と学力・体力の関係」について小学5年生と中学2年生の国語Aと算数Aを「毎日食べている」「全く食べていない」を比較した調査結果では、学力・体力共に差があり家庭生活の重要性を強く感じました。

第二部のテーブルごとに昼食しながらの懇談会は、和気藹藹の楽しいひとときでした。

第三部は、「青少年健全育成の情報交換」を行い、参加町内会相互の有意義な活動でした。



秋季研修に思いこむ

女性部会長 原口 萩子

秋の研修は「心の健康のはなし」、うつ病の予防と早期発見を学びました。

115名の参加で「心の病とは」うつ病を予防することから始まって、自分自身を知る事、それにゆとりある生活をし、何事も自分だけで抱え込まないなど、身近な講話がありました。

この病の予防は、周りの人々の対応が大事であるということ、「心の病」は高齢者だけの問題ではなく若年の方にも共通する。地域社会の崩壊や格差の拡大がうつ病を発病し、心の居場所が定まらず、生きる痛みとなっています。



地域住民の協力を得て、地域に愛と優しさを植え育て、今住んでる所が永遠の故郷となることを願って、頑張ってください。



これからの資源回収について

環境部会長 長谷 勤

私たちが受け継いだ、三位一体の千歳方式と呼ばれる現在の集団資源回収事業には、およそ30年の歴史があります。

この間町内会では、ごみの減量化と資源のリサイクルという、大きな社会的な使命を遂行しながら、その対価として還元金を受け、これを原資に、活発な町内会活動を支えてまいりました。

ところが、平成24年度から実施するとして、千歳市の集団資源回収新システム(案)が、5月20日、突然新聞報道されました。その後各機関で審議され、9月15日から市内14会場で、全市民対象の意見交換会も開催されました。

各会場では、(案)の内容と市側の説明に対して、真剣な質問が相次ぎました。市は市民の発言内容を取りまとめ、年内に公表するとしています。市町連としては、円滑な移行を行政に対して申し入れていきたいと考えております。

記念事業をおこなった町内会をご紹介します

信濃2丁目町内会10周年

信濃2丁目町内会創立10周年式典、祝賀会を去る10月24日、千歳市市民環境部・大矢次長をはじめ、力示社協会長、沼田市町連会長、近隣町内会長そして多数の町内会会員の皆様のご臨席を賜り、盛大に挙げる事ができました。

私たちの町内会は、昭和37年に「信濃704番地会」として現在の信濃連合町内会のスタートを切った地であり、信濃地区の発祥の地であると言ってもおかしくない地域であります。

平成11年に「旧信濃町内会」が分町し、新しく信濃2丁目町内会として発足して10年がたちました。式典では過去10年間の功績を讃え、町内会発展にご活躍された方々を表彰し、祝賀会ではゲーム

等で楽しいひと時を過ごしました。私たちの町内会は、地域世帯数が470戸ほどある



のですが、パート、マンション等が多く会員数は270戸からあまり増えずここ数年変化がありません。高齢化は進み、役員さんの引き受け手も減少傾向にあります。町内会活動をより活性化し組織改革を実施することにより町内会に広がりを持つとうと行動中であります。

もともと、夏祭り、敬老会、親睦パークゴルフ大会、ふれあい交流会などは盛大でありましたが、参加される方々に広がりがなく、特に若い方の参加はあまり多くありませんでした。

近年、防災部をあらたに設置し、青少年部を充実させることにより若い方の参加意識を高めながら、町内会活動が活性化し、会員さんの拡大に広がればと思っております。創立10周年を一つの節目として、町内会活動をより一層発展させてまいりたいと思っております。関係各位の皆様のご指導、ご協力をこれからも賜ります様お願い申し上げます。

朝日町東自治会

完成竣工祝賀会

会長 橋 爪 克 明

朝日町東自治会館 完成竣工祝賀会



皆様あけましておめでとうございませう。今年皆様によりよい年でありますよう願っております。念願の朝日町東自治会館も昨年11月17日、関係者をお招きし、約148㎡の完成竣工祝賀会を開催することができました。当町内会住民の皆様をはじめ市役所、防衛省等補助金交付機関、緑建工業株式会社様より絶大なご支援・ご協力を頂き感謝申し上げます。

会館はこじんまりとした建物ではありますが、便利で使い勝手が良く、障がい者・老人の方たちも安心してみんなで会話をし、楽しめる会館を目指しています。

玄関前は、スロープがあるバリアフリーで、滑り止めも施され、階段の上段は車いすでの出入り時、転落防止の棒を出せるよう

にしたり、一步玄関に入ると折りたたみ椅子を出して腰をかけるながら靴を脱ぐことが出来ます。また、玄関壁面とトイレには手すりを取り付け、楽な姿勢での行動が出来るよう配慮してあります。

まだまだ不足している備品等がありますが、町内会の貯蓄が貯まってきたと考えています。見学の希望はいつでも受け付けております。(見学を希望される町内会様は、会長さんから当町内会長あてに事前に連絡をしてください。当方の町内会役員が立ち会い、説明をいたします。)

旧町内会館は、昭和44年に東雲町にあった、清和寮の解体木材の払い下げを受けて建設され、大変使い勝手の良い会館として町内会員に親しまれてきた建物であります。町内会としては、以前から会館の建て替え増築に対する積み立てはありませんでしたので立て替える話が決まってきたのは、市からの助成制度、他からの援助制度を確認し、相手方との細部の打ち合わせを充分に行い当方の状態(手持ち資金が少ないこと)を正直に説明し理解を得ました。以後の活動の考え方についても理解を得る相談を繰り返したことが功を奏し、千歳市と当町内会との話し合いが出来ました。

新富西町内会館 新築完成

爽やかな年頭を迎え、町内会館の新築により多くの町内の人々が来館し、予想を超える喜びの声に10年越しの計画が立派に果たされたことを感謝しております。望月建設委員長を中心とする男性5名女性2名の委員が平成21年8月の第一回目の会議以来15回の会合を行い緻密な内容等多くの意見をいただき、理想的な会館が建設されました。

特長としては玄関を東南2ヶ所に作りその広さも4坪位にし、出入りする人々の混雑を緩和す



ることが出来ることは他に類類を見ないものと思われませう。

会館面積は61坪と旧会館より2割5分程拡張し、開館式当日には約90人が入館出来たことも驚異でした。工事費も2259万円、備品費134万円かかりましたが、補助金1609万円を戴き、町内会費を倍額の月々600円をいただいております。そのため寄付等を仰ぐこともなく建設が出来ました。施工の協業士建様の建築技術は素晴らしく立派としか言いようがありません。しかも建築記念として大型テレビが寄贈され本当にありがとうございます。多くの協力者に深く深く御礼申し上げます。



新富西町内会

町内会館完成

会長 吉 成 正 雄